「ドイツ専門職業訓練デュアルシステム」

プロフェッショナルを育成

ドイツでは、専門職を育成する「ドイツ専門職業訓練（デュアルシステム／Dual Vocational Training System）」と呼ばれる職業訓練制度が広く定着しています。約3年間の訓練期間を通して、企業で働きながら技術や技能を習得する「実践」と専門知識や一般教養を学ぶ「講義」を並行して受講し、試験を経て認定を受けるという流れです。現在では324の職種に広がり、毎年約130万人が参加しています。

プロフェッショナルを輩出し、経済・産業の発展へつなげる

未来を担っていく次世代に向けて新たな**キャリアパス**を提供

企業も参画、研修の提供と雇用の維持を通して**社会貢献**

「ドイツ専門職業訓練」は、次世代のプロフェッショナルを育成します。教育の現場と労働市場をつなげて有能な人材を社会に送り出すことは、経済成長や産業発展を助けるだけでなく、若年層へのキャリアパス提供など社会課題の解決にもつながります。現在、ドイツ人労働人口の約5%が現役の訓練生であり、その平均年齢は約20歳です。制度導入が始まった1969年から、ドイツ政府や各商工会議所、労働組合がそれぞれの立場で責務を果たし、関係各所と連携しながら制度を支えてきました。受け入れる側の企業も、研修環境を提供して人材育成にともに関わり、重要な役割を担って社会的責任を果たしています。

AHK
German Chamber of Commerce and Industry in Japan
在日ドイツ商工会議所

Supported by:
Federal Ministry for Economic Affairs and Climate Action
on the basis of a decision by the German Bundestag

「ドイツ専門職業訓練」を日本で初導入

「ドイツ専門職業訓練」を現在実施している国と地域（2023年時点/日本以外）

次世代を担う プロフェッショナルな人材を育成

「ドイツ専門職業訓練」は2023年時点で約50の国と地域で導入され、成果を上げています。日本ではこれが初の試みとなり、ドイツ連邦経済・気候保護省が制度導入や実施における費用の多くを負担します。

在日ドイツ商工会議所は、日本での導入において、次世代の自動車整備士の雇用・教育のためのプラットフォーム構築が急務であると考えました。ドイツ車インポーターの協力のもと、また世界各地のドイツ商工会議所のネットワークを活用しながら、数年をかけて導入に向け準備を進めてきました。モビリティ業界の急速な進化に伴いさらに高い技術力と幅広い対応力が求められている状況を受け、独自のプログラムを用いて、自動車整備士の育成からスタートします。

カーメカトロニクスの 最新技術を習得し、即戦力へ

訓練生には、ドイツのカリキュラム*を日本の状況にあわせて構成したオリジナルプログラムを提供します。電気自動車から自動運転にいたるまで、最新の専門技術を深く理解して身につけることができます。研修と講義は日本語で行われ、講義は東京と神戸にある協力パートナーの学校で行われます。

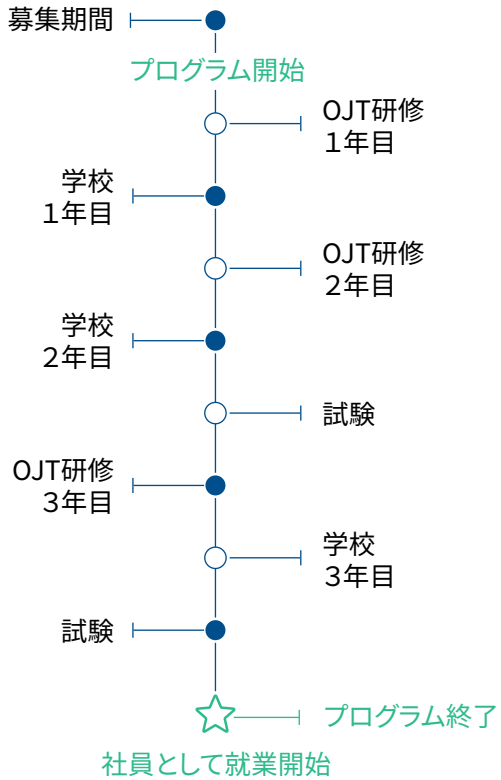
研修は以下によって構成されます：
- 70%「実践」ディーラーでOJTで研修を受ける
- 30%「講義」自動車整備に特化した知識と一般教養を学校で学ぶ

*「自動車メカトロニクスエンジニアに関する職業訓練規則」によって策定された「自動車メカトロニクスエンジニア向け職業訓練カリキュラム」のこと

期間	3年間
参加資格	高等学校卒業程度認定試験合格者
企画	ドイツ連邦経済・気候保護省、 在日ドイツ商工会議所

- 全プログラムを修了すると、ドイツ政府の規定に基づく証明書が付与されます。
- プログラム修了と同時に、研修先企業にフルタイム社員として就職が可能となります。
- 研修先企業で研修を担当する講師は、ドイツ専門職業訓練プログラムに基づき、事前に認定を受けます。

プロセス



AHK 基本情報・問い合わせ先

菊地 隆一
+81 (0)3 5276 8818
rkikuchi@dihkj.or.jp
www.japan.ahk.de
東京都千代田区三番町2-4
三番町KSビル5F
@AHK Japan
@AHK Japan
@AHK Japan